

平成24年度名古屋の森林生態系の生物指標と生態系サービスの総合評価に関するワークショップ

日時:2013年3月13日(水)13:30-17:30

場所:名古屋大学環境総合館 3階講義室 2

・13:30-13:35 開会

Session 1 生態系サービスの総合評価

・13:35-14:10 町村 尚 (大阪大学)

「ツキノワグマ被害の自然要因および社会要因」

・14:10-14:45 庄山 紀久子 (国立環境研究所)

「生態系サービス指標を用いた評価研究事例」

・14:45-15:00 林 希一郎 (名古屋大学)

「生態系サービスと総合評価の考え方」

・15:00-15:15 大場 真 (名古屋大学)

「名古屋市とその周辺地域における生態系サービスの定量広域評価」

ポスターセッション* (休憩:45分)

Session 2 名古屋の森林生態系と生物指標

・16:00-16:20 杉山 章 (名古屋女子大学)

「蚊類の森林生態系の指標生物としての有効性 一産卵トラップの結果一」

・16:20-16:40 浅野 邦史 (名古屋昆虫同好会)

「名古屋大学東山キャンパス内林木のコナラ属 3種を寄主とする蛾」

・16:40-17:00 吉野 奈津子(名古屋大学)・長谷川 泰洋(名古屋大学)

「名大キャンパスと城山八幡宮の植物種」

・17:00-17:20 野呂 達哉 (なごや生物多様性センター)

「名古屋に生息する哺乳類の現状」

・17:20-17:30 意見交換・閉会

*14:55-15:40 ポスターセッション (環境総合館 3階講義室 2 横ラウンジ)

・鈴木孝拓(名古屋大学 B4):GISを用いた名古屋市緑地におけるコウモリ飛翔活動の分析

・Ambika Dhakal, Makoto Ooba, Kiichiro Hayashi(Nagoya University):GIS mapping of large mammals' potential habitat using InVEST and HSI models

・Li Rui(名古屋大学 M1), Makoto Ooba, Kiichiro Hayashi, Ambika Dhakal (Nagoya University)The potential distributions of mammalian with land use changes by the Maxent model-a case study in Nagoya city

・伊東英幸(日本大学助教):生息地適性指数モデルを活用した森林評価手法の構築に関する研究

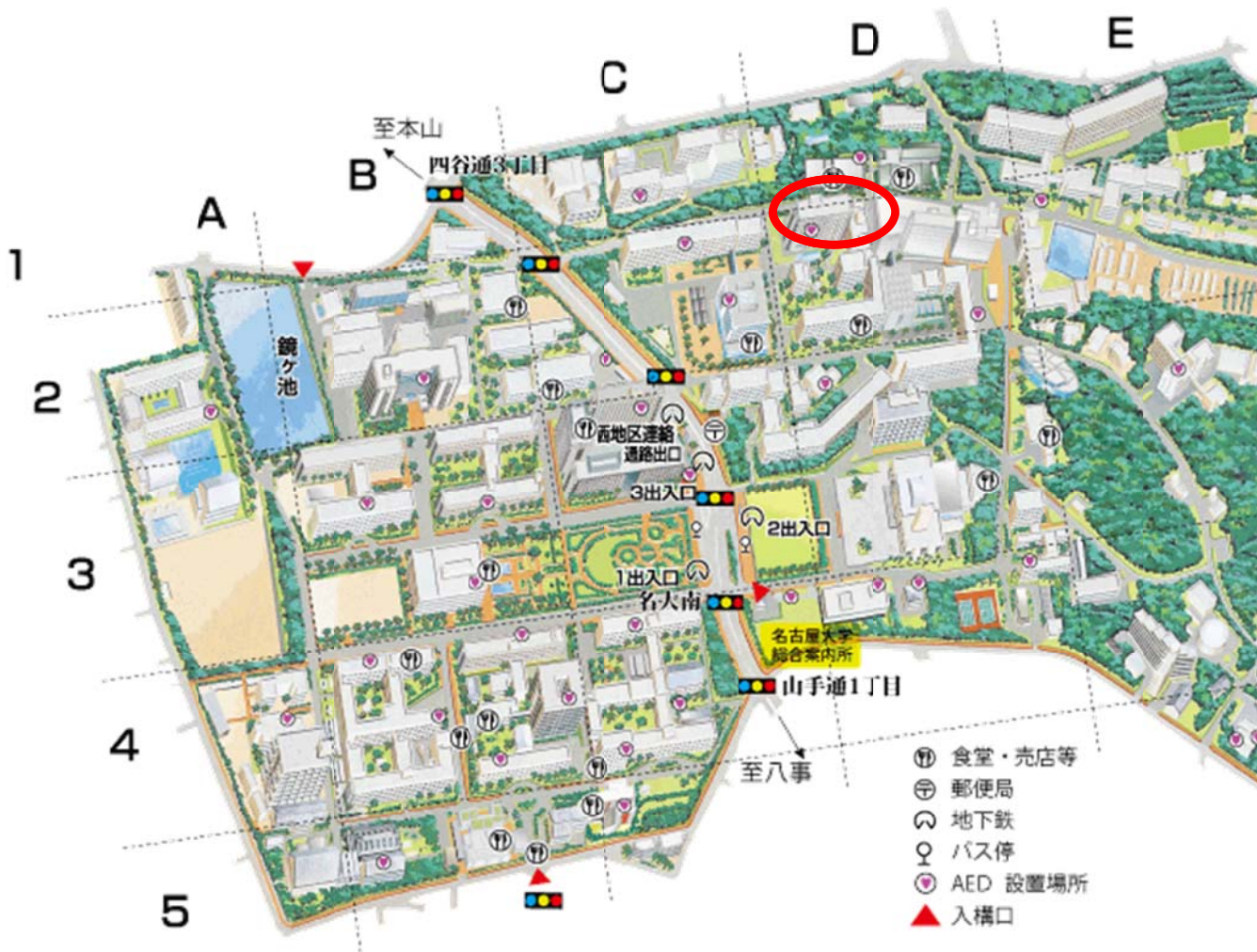
・井上晶次(名古屋昆虫同好会):名大キャンパスと平和公園の灯火に飛来した甲虫類の比較


・鷲見宏明(名古屋大学 D2):全国市町村別の利用可能量からみる再生可能エネルギーおよびその地産地消の実現可能性の検討

・太田貴大(名古屋大学 D3)・橋本啓史(名城大学)・長谷川泰洋(名古屋大学):名古屋大学東山キャンパスにおける絶滅危惧鳥類アオバズクの保全活動のこれまでの成果と今後の発展

主催:名古屋大学エコトピア科学研究所林研究室

注:本ワークショップは、先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)を活用しています。



 場所:名古屋大学環境総合館 3階講義室 2

参加ご希望の方は下記までメールにてご連絡ください。

お申し込み先:

名古屋大学エコトピア科学研究所 担当:長谷川

e-mail: hy12eco@esi.nagoya-u.ac.jp